■ 2026年度 第２回駿台atama＋共通テスト模試 地理総合，地理探究 学力分析得点化シート ■

解答番号	正解	自分の解答	正誤 ○・×	配点（点）	ヤバイ	出題分野（系統地理分野での分類）	設問形式 解答形式	学力セクション別配点（点） 知識	応用	技術	地図	読解	実質実力得点	共通テスト対応力
1	④	○		3	⑤	農牧業	資・統／組	3	2	3	4	2	14	3
2	②	○		3	③	地形環境／気候環境	選／組	4	1	3	3	3	14	2
3	④	○		3	⑨	民族・宗教	統／組	5	3	4	3	1	16	3
4	②	○		4	⑥	民族・宗教	選／組	5	2	1	2	1	11	1
5	②	○		3	③	気候環境	統／組	2	4	3	4	2	15	2
6	④	○		3	⑤	地形図読図／気候環境	写・資／組	1	3	5	0	4	13	3
7	④	○		3	①	－	統／組	1	5	4	0	4	14	4
8	④	○		3	①	第３次産業	資／単	1	3	4	0	4	12	4
9	②	○		4	③	地形環境	資／組	3	3	4	5	1	16	3
10	②	○		3	③	気候環境/地形環境/植生/開発	選／単	4	2	1	4	3	14	2
11	④	○		4	①	環境問題／植生・土壌	統／組	3	2	4	2	1	12	2
12	③	○		4	②	気候環境	資／単	2	3	4	4	1	14	4
13	①	○		3	④	地形環境／気候環境	統／組	3	3	4	5	2	17	3
14	④	○		3	⑤	地形環境／気候環境	資／組	2	2	4	0	1	9	3
15	⑤	○		3	①	農牧業／鉱産資源	統／組	4	2	3	4	2	15	3
16	③	○		3	②	鉱産資源	統／組	2	3	3	1	1	10	3
17	⑥	○		4	①	鉱産資源	統／組	2	4	4	0	1	11	3
18	①	○		4	④	工 業	資／組	4	1	2	1	2	10	3
19	⑤	○		3	④	第3次産業/経済活動の国際化	統／組	3	4	5	1	2	15	4
20	①	○		4	④	人 口	統／組	3	3	3	0	1	10	2
21	⑥	○		3	③	人 口	統／組	4	2	3	0	1	10	3
22	③	○		3	①	人口/農牧業/第3次産業	統／単	2	4	4	0	2	12	4
23	⑦	○		3	②	気候環境／環境問題	統／組	3	4	4	5	4	20	4
24	⑥	○		3	③	人口／都市・村落	資／組	2	4	4	4	1	15	3
25	④	○		4	①	交通・通信/第3次産業	統／単	1	4	3	0	1	9	2
26	④	○		4	①	気候環境	資／単	2	3	4	3	2	14	3
27	⑥	○		4	③	農牧業	統／組	3	2	3	1	1	10	2
28	②	○		3	③	鉱産資源	正誤／単	5	3	1	1	2	12	2
29	②	○		3	③	交通・通信	統／組	1	3	2	4	1	11	2
30	③	○		3	②	国 家	資／単	4	2	2	4	4	16	2
			得点（素点）	/100	/30		合計得点	/84	/86	/98	/65	/58	/391	/84
			得点率	❾ %	❽ %		得点率	❶ %	❷ %	❸ %	❹ %	❺ %	❻ %	❼ %
								※1 %	※2 %	※3 %	※4 %	※5 %	※6 %	※7 %

※1：❶－❾，※2：❷－❾，※3：❸－❾，※4：❹－❾，※5：❺－❾，
※6：❻－❾，※7：❼－❾

■「学力分析得点化シート」の使い方 ■

「第２回駿台 atama ＋共通テスト模試」の結果から現状の自分の弱点を把握し，強化してゆかなければならない**「学力セクション」**を明確にしたうえで，今後の効果的学習に役立てて下さい。下記の**５つの学力セクション（知識，応用，技術，地図，読解)」**，および**「実質実力得点」**，**「共通テスト対応力」**は，**「学力分析得点化シート」**で**点数化**することができます。

●「共通テスト地理」で必要とされる５つの学力セクション ●

❶ **知識**：共通テスト形式の設問を解くために必要となる絶対的な知識量を，どれだけ習得しているかの能力

❷ **応用**：設問を解くために必要とする知識を的確に使用できる能力，複数の知識を組合せて使用できる能力，知識と設問で付与された情報を組合せて使用できる能力などの論理的な思考能力

❸ **技術**：統計，資料，グラフ，地形図などから，設問を解くために必要となる情報を，限られた時間内に読みとる能力

❹ **地図**：知識を地図上での位置で把握できている能力

❺ **読解**：設問文をはじめ，付与された資料の文章，選択肢の文章を正しく読みとり，問われていることを正しく理解したうえで設問に解答できる能力

❻ **実質実力得点**：素点よりも精緻な共通テストに対する総合的な学力を示す得点

❼ **共通テスト対応力**：共通テスト特有の特徴的な出題に対応できる能力

❽ **ヤバイ選択肢解答率**：ウイークポイントとなっている学習項目の多少についての目安

● 設問形式・解答形式 ●

設問の出題形式（設問形式・解答形式）による弱点の把握ができます

〈設問形式〉
- 誤：地図などと文章正誤判定のみの設問
- 選：地図などと文章・語句・項目などの選択のみの設問
- 統：統計指標の判定を必要とする設問
- 資：資料のよみ取りを必要とする設問
- 写：写真，陰影起伏図などのよみ取りを必要とする設問

〈解答形式〉
- 単：単答選択（ひとつの解答を選択）
- 組：組合せ選択（複数の解答の組合せを選択）

●「学力分析得点化シート」の使い方 ●

①「自分の解答」欄に解答番号を記入する

②「正誤」欄に○（正解）・×（誤答）を記入する

③ ○（正解）した解答番号の「学力セクション別配点（知識・応用・技術・地図・読解)」，および「実質実力得点」，「共通テスト対応力」の点数を，それぞれ合計して「合計得点」欄に記入する

④「合計得点」欄には，それぞれ満点となる点数が示してあるので，自分の得点から「学力セクション別配点（知識・応用・技術・地図・読解)」，および「実質実力得点」，「共通テスト対応力」の「得点率」を算出する

★ それぞれの得点率（❶～❼）を素点の得点率（❾）と比較することで，各能力の高低を測ることができます。「学力セクション」，「実質実力得点」，「共通テスト対応力」それぞれについて，得点率の差（❶－❾，❷－❾，❸－❾，❹－❾，❺－❾，❻－❾，❼－❾）を算出すれば，＋の絶対値が高いほどその能力が高く，－の絶対値が高いほどその能力が低いことがわかります。素点の得点率と比較して±５％以上の差があれば有意差となります。

★ なお，「☠ヤﾊﾞｲ」欄の選択肢を選んで誤答となっている場合は，その設問に関連する事項について正しく理解できていないと推定されますので，基礎から学習し直すことが必要です。ヤバイ選択肢解答率（❽）は低いほど，ウイークポイントが少なく得点が安定する傾向にあるといえます。